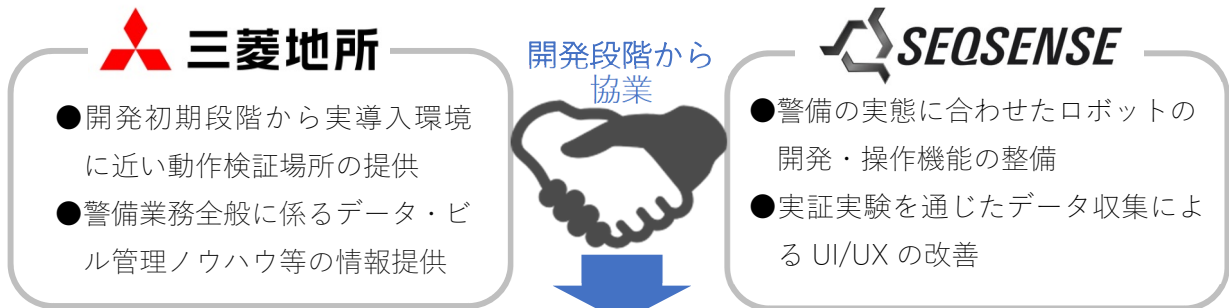


SEQSENSE が開発する自律移動警備ロボット「SQ-2」 東京・大手町のオフィスビルにて 8 月末より全国初の運用開始

～開発段階からの協業により、機能検証・現場検証を重ね、ロボットの実導入段階へ～

三菱地所株式会社は、自律移動型ロボットの開発を行う SEQSENSE（シークセンス）株式会社へ 2018 年 6 月に出資を行い、先端技術を活用した次世代型の施設運営管理の構築を目指し、協業を進めてきました。この度、SEQSENSE 社とともに実導入に向けた検証を重ねてきた警備ロボット「SQ-2」を、三菱地所の本社が入居する「大手町パークビルディング（東京都千代田区）」にて、2019 年 8 月 29 日より運用開始いたします。なお、「SQ-2」が実際の施設で実導入されるのは、今回が初となります。



▲SQ-2

【警備ロボット運用の実用化】

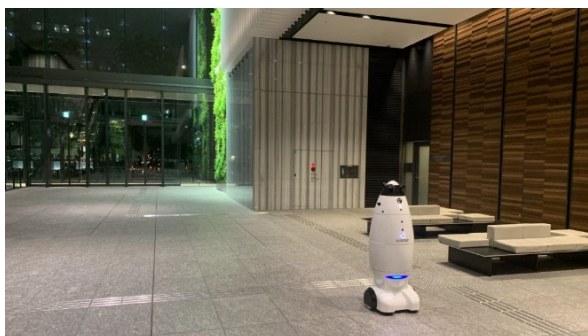
- ①日中の立哨・深夜の巡回の一部をロボットにて実施。
警備員による 1 日当たりの立哨を約 8 時間削減、巡回業務を一部代替。
- ②あらかじめ設定されたルートの警備・点検業務のほか、警備エリア内の指定された任意のポイントに駆け付けることも可能。
- ③警備中はロボットに搭載されたカメラで映像モニタリングが可能。異常がある場合は、通話システムで対話対応が可能。
- ④巡回業務時に撮影した画像にて巡回レポートの自動作成が可能。
- ⑤ロボットが撮影した映像をリアルタイムで解析することで、不審物等の異常を検知することが可能。

「SQ-2」の実導入に際し、三菱地所は実運用環境に近い動作検証場所を提供すると共に、警備業務全般に係るデータ・ビル管理ノウハウ等を SEQSENSE 社に提供し、ロボットによる警備業務の実用化に向けた共同開発を進めてきました。今回の導入により、従来警備員が行っていた立哨・巡回業務の一部を「SQ-2」に代替することで、人とロボットの警備業務の分業を進め、AI やテクノロジーの活用により、警備業務全般の効率化や高度化を推進します。

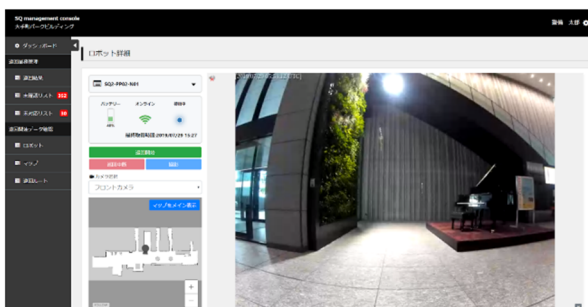
今回の導入を第一弾として、2019 年中には丸の内エリアの他ビルでも実導入を進めていくほか、2020 年度以降は空港や商業施設などへの実導入も目指します。将来的には、エレベーター等の既存ビル設備と連動した警備業務、ロボットを通じて取得したデータの活用等も順次進めていく予定です。

三菱地所グループは、事業の質や顧客満足度の向上を目指し、不動産業の新たな可能性を探るべく、今後も積極的にロボット活用を進めていきます。

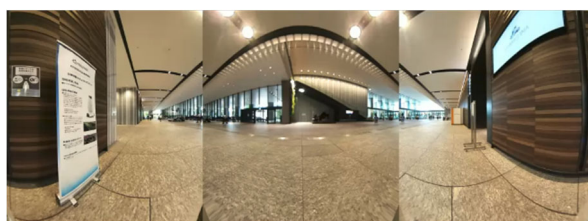
【SQ-2 概要及び主な機能】



▲警備中の様子のイメージ (大手町パークビル 1 階)



▲▼遠隔モニタリングのイメージ



© 2019 SEQSENSE Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

名 称：SQ-2
寸 法：全高 1295mm, 全幅 510mm,
全長 506mm, 全周 600mm
連続稼働時間：5～6 時間
搭載センサー：赤外線センサー (3D LiDAR)、
超音波センサー、サーモセンサー

- ・警備拠点より、遠隔でリアルタイムにロボットの操作が可能。あらかじめ作成したマップ上の任意の地点を指定して、ロボットを当該地点まで自由に移動させ、ロボットに搭載された通話システムにより遠隔からの対話対応が可能。
- ・周囲 360 度を撮影可能な高精度のカメラを搭載し、警備拠点の遠隔操作モニターよりロボット周辺をリアルタイムで監視することが可能。
- ・施設利用者がロボットの上部に設置されたセンサーに手をかざすと警備拠点の警備員との対話が可能
- ・自律走行による巡回中は、予め決められたルートに沿って点検業務（消火栓や排煙口・スプリンクラ等の各種設備が正常な状態にあるかの目視点検、放置物の有無）を実施。異常を検知した場合は警備拠点に通知・記録。

【三菱地所のロボット関連協業の取り組みについて】

三菱地所は、2017 年より多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していく街を「オープンイノベーションフィールド」と位置付け、先端技術・テクノロジーを活用した実証実験の場として当社施設を提供し、街づくりにおける当該技術の有用性や実用化のハードルについて検証を行っています。ロボティクス分野においても、人手不足社会の到来を見据え、街のサービス及び運營業務を担う様々なロボットの導入を進めていますが、自らもロボットの開発段階で協業することで、より多くの実証実験の場を提供し、より実用性の高いロボット開発を早期に実現することが期待出来ます。

【SEQSENSE 社の概要】

本 社 所 在 地：東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル
設 立：2016 年 10 月
資 本 金：12 億 304 万円（資本準備金含む）
事 業 内 容：警備用ロボット及びその関連製品の開発
従 業 員 数：24 名
代 表 者：代表取締役 CEO 中村 壮一郎、技術アドバイザー 黒田 洋司

以上